

# 日本共産党

金子 貞作 高坂 進  
 清水みな子 桜井 雅人  
 谷藤 利子

## 待機児童の解消

問 不況と貧困を背景に働く夫婦が急速に増え、保育園の待機児童数は減っていない状況である。本市は他市に比べて待機児童数が多

## 危機管理

のことで良好な保育環境を維持できると考えている。

## 市民所得の現状と対策

問 国民の年間所得は10年前と比較して70万円も減少しており、年金削減や消費増税で暮らしは厳しさを増している。本市の財政において、市民の所得を増や

## 高齢者施策

問 高齢者が安心して暮らせるよう、地域や社会全体で応援していくことはとても大事であるが、高齢者という括りでは幅広いため、ある程度年代を考慮した施策や支援の必要があると思

## 簡易保育園

問 簡易保育園を育てていくことは、待機児童解消施策の一つとして重要である

## 子どもの教育環境

問 教育環境を整え、子どもを守り育てることは大人の責務である。子どもの教育環境を考える上で、学校の

新設して地域防災力の強化を図る。危機管理室は市長直轄の組織として、平時においてもリーダーシップを発揮し対応していく。

答 本市の地震被害想定は、平成24年4月1日時点の待機児童数は296名となっている。今後も保育需要の高い状況が考えられるため、多様なニーズに応えていくための施策に取り組む。また、現在、一部の認可保育園では株式会社等が運営を行っているが、既に独自の基準に基づき事業者を選定し、また県の指導監督に市も同行し確認しており、こ

第一、第二庁舎の耐震強度不足への対応について、建て替えまでの期間の倒壊防止策として、松戸市の病院で実施している包帯補強工事は考えられないか。また、建て替えは膨大な財政支出を伴う事業であり、市民の理解と協力が不可欠である。しかし、周知という点ではまだまだ不十分と思われ、説明会にも参加者は少なかつたと聞く。市民への情報提供と意見集約について、市の見解を問う。

答 松戸市の包帯補強工事は承認しているが、本市では早期に建て替える方針であり、現庁舎の耐震性については、建物上部の荷重軽減や仮庁舎の早期建設、その他避難訓練等のソフト面でも対応していく。市民への情報提供や集約した意見から、これまでのところ建て替えには概ね理解を得られていると認識しており、今後もパブリックコメント等を通じて多くの意見を聴き、理解を得ていきたい。

意欲と能力のある高齢者が「支える側」に回れるような施策も必要といわれている。市としても、高齢者のニーズ把握において、年代に対する分析等も考慮し、元気な高齢者が地域の中で活躍できる仕組み作りが必要と考えている。そのため、行政と社会福祉協議会等が連携して地域で支えあう社会の構築を目指す中で、「支える側」に立つ高齢者が活躍できる仕組み作りを考えていきたい。

答 現在、高齢者施策は、個々人の状態や状況に応じて進めているが、今後の本格的な高齢社会においては、

発達障害児への対応として、25年度末で廃園となる稲荷木幼稚園跡地に設置される支援センターの基本的な考え方について問う。

答 学校支援実践講座事業のノウハウも活かして進めていきたい。

・中学校の児童生徒といじめの問題について考える交流会を行うもので、学校でのいじめについての取り組みを地域から支援する人材を育成し、学校に派遣することを目的としている。この講座の受講者は、子どもの人権意識の高揚を目指し、学級担任等と協働して授業を行う他、他の地域活動への参加を通じて地域での新たな人材発掘にもつながるものと考えている。また、発達障害児の支援センターについては、0歳児から18歳児までの、知的に大きな遅れを伴わない発達障害児が地域で安心して暮らせるようにするために、児童福祉法上の児童発達支援センターとして事業展開するものである。2年後の開設に向け、こども発達相談室で積み上げてきた様々な支援のノウハウも活かして進めていきたい。

問 市役所本庁舎の老朽化が進み、建て替えは重要な課題であるが、現庁舎の耐震強度不足を放置すること

問 市役所本庁舎の老朽化が進み、建て替えは重要な課題であるが、現庁舎の耐震強度不足を放置すること



建て替え計画が進む市役所本庁舎

問 簡易保育園を育てていくことは、待機児童解消施策の一つとして重要である

問 簡易保育園を育てていくことは、待機児童解消施策の一つとして重要である



市川漁港